

平成29年度「外部専門機関と連携した英語指導力向上事業」 ～長崎県(南島原市立口之津小学校)～

目的

「長崎県が目指す教員の姿」の達成

- ◎すべての教員が外国語活動の授業を経験する。
- ◎簡単な英語で子どもに指示ができるようになる。
- ◎ALTと協力して指導できるようになる。

取組の内容

- 「授業の流れ」のパターン化・役割分担 「授業の流れ」カード作成、ALTとの打合せに使える英語表現
- 授業イメージの共有化(EATIによる模擬授業)..... DVD作成 ※EATI…市独自任用による英語指導助手(English Assistant Teacher)
- クラスルームイングリッシュの研修..... 職員会議・校内研修の開始前10分間、夏季休業日・教室掲示、CD配布
- イングリッシュデー(毎週金曜日)の実施..... 授業の始まりや終わりの英語での挨拶、朝・帰りの会の英語での進行
英語集会(イングリッシュタイム)の企画と進行
- 学習環境の整備..... 「日付・曜日・天気」カード作成、季節や行事に応じた掲示物

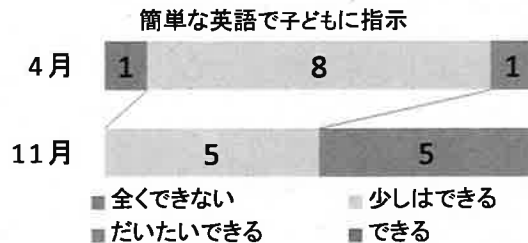
成果①

◎全職員が、外国語活動の授業または集会を経験

- ・「授業の流れ」をパターン化することにより、教師も子どもも見通しを持って、スムーズに学習を進めることができた。
- ・模擬授業や集会で、互いに参観し合うことにより、授業のイメージも持つことができ、活動のアイデアが広がった。
- ・「新学習指導要領の全面実施に向け、全職員で取り組んでいこう」という意識が高まった。

成果②

◎教師、児童、共にクラスルームイングリッシュへの抵抗減



- ・クラスルームイングリッシュを繰り返し使用することにより、表現に慣れてきた。
- ・短く、簡単な指示をすることにより、子どもも容易に理解ができ、すばやく活動できるようになってきている。

成果③

◎ALT、JTE、HRTそれぞれの特性を生かした指導



- ・役割分担の明確化により、限られた打合せの時間で、それぞれの良さを生かした指導をすることができた。
- ・授業のねらいを伝えることにより、様々な活動のアイデアを得ることができた。

今後の課題・方向性

- ①新学習指導要領・新教材の内容理解
- ②「教材研究・教材作り・打合せ」時間の確保
- ③評価方法の工夫